

11月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～コンテンポラリーダンス、梅田宏明作品・平井優子作品・山崎広太作品～

11月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 「JCDN『踊りに行くぜ!!』Ⅱ（セカンド）vol.6」 滞在制作 <11月編>

『踊りに行くぜ!!』Ⅱ（セカンド）は、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークが実施する“ダンス作品”の新作づくりに取り組むプロジェクトで、日本のコンテンポラリーダンスの登竜門的存在となっている。

(1) 滞在制作

ア 期間

平成27年11月5日（木）～12月1日（火）

イ 内容・特色

- (ア) ダンス作品の新作アイデアを公募し、選ばれたアーティストのうち2組が10月に、3組が11月に城崎国際アートセンターで滞在制作を行う。
- (イ) 11月に滞在する3組は、城崎での滞在制作を経て、2016年1月～3月に『踊りに行くぜ!!』Ⅱ vol.6 全国巡回公演で上演予定。
- (ウ) 滞在制作をするのは、東京を拠点に活動する梅田宏明さん、平井優子さん、ニューヨークを拠点に活動する山崎広太さん振付の3作品。
- (エ) 滞在期間中に地域交流プログラムとして、3作品それぞれの作品の公開稽古を行う。

(2) 地域交流プログラム（公開稽古）

ア 日時

平成27年11月8日（日）午後3時～5時 【梅田宏明作品】
 平成27年11月15日（日）午後3時～5時 【平井優子作品】
 平成27年11月28日（土）午後3時～5時 【山崎広太作品】

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 参加費

無料（※ 事前申込必要）

エ 一時保育

申込みは、各回1週間前までに城崎国際アートセンターへ電話

オ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、連絡先が必要）

〔申込先〕城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付9:00～17:00 火曜休館）

e-mail info@kiac.jp

(3) 作品について

ア 梅田宏明作品

- (ア) 作品名
『^{シックス フェイズ}6 . phase』
- (イ) 作品メンバー
振付：梅田宏明
ライティング & サウンドデザイン：^{エストゥエンティ}S 2 0
^{ソマティック フィールド プロジェクト}出演：Somatic Field Project
- (ウ) 今後の上演予定
JCDN「踊りに行くぜ！！」Ⅱ（セカンド）vol.6 Aプログラム参加
上演地：松山（1月29日）、八戸（2月7日）、仙台（2月13日・14日）、
神戸（2月27日・28日）、東京（3月26日・27日）

イ 平井優子作品

- (ア) 作品名
『^{ゴースティング}Ghosting——傍らにあるもの』
- (イ) 作品メンバー
構成・演出・出演：平井優子
出演：中尾舞衣
空間構成：山内朋樹
音楽：^{アンティ グレイエ リパッティ エーケーエー}Antye Greie-Ripatti a k a AGF
映像・音響：古舘健
- (ウ) 今後の上演予定
JCDN「踊りに行くぜ！！」Ⅱ（セカンド）vol.6 Aプログラム参加
上演地：札幌（1月16日）、松山（1月29日）、仙台（2月13日・14日）、
福岡（3月6日）、東京（3月26日・27日）

ウ 山崎広太作品

- (ア) 作品名
『足の甲を乾いている光にさらす』
- (イ) 作品メンバー
振付：山崎広太
出演：^{かさい みつたけ たけもと か ず こ}西村未奈、笠井瑞丈、武元賀寿子
音楽：菅谷昌弘
衣装：山崎広太
- (ウ) 今後の上演予定
JCDN「踊りに行くぜ！！」Ⅱ（セカンド）vol.6 Aプログラム参加
上演地：札幌（1月16日）、神戸（2月27日・28日）、福岡（3月6日）、
東京（3月26日・27日）

〈プロフィール〉

1 梅田宏明 (Hiroaki Umeda)

振付家、ダンサー、ビジュアル・アーティスト。2002年に発表した『while going to a ^{ホワイル ゴーイング トゥー ア} condition』^{コンディション}が^{ランコントル コレグラフィック アンターナショナル}高く評価され、フランスのRencontres Chorégraphiques Internationalesに招聘される。以後、パリのシャイヨー国立劇場共同制作『Accumulated Layout』^{アキュムレイテッド レイアウト}や、YCAM ^{ワイカム}（山口情報芸術センター）共同制作作品『Holistic Strata』^{ホリスティック ストラータ}などが世界中のフェスティバルや劇場より招聘される。2009年から振付プロジェクト「Superkinesis」^{スーパーキネシス}を開始。他委託振付作品に、ヨーテボリ・オペラ・ダンスカンパニー『Interfacial Scale』^{インターフェイス スケール}（2013年）、^{エル エー}L.A. ^{ダンス プロジェクト ペリフェラル ストリーム}Dance Project『Peripheral Stream』（2014年）などがある。2014年には、日本の若手ダンサーの育成と、自身のムーブメント・メソッド「Kinetic Force Method」^{キネティック フォース メソッド}の発展を目的として「Somatic Field Project」を開始。

2 平井優子 (Yuko Hirai)

ダンサー/振付家。4歳からクラシックバレエを始め、93年上京後コンテンポラリーダンスへ転向。数々の客演を経て'01年フランス政府給費留学生としてCDC トゥルーズへ留学。のちにダムタイプメンバーとなり制作や国内外での公演ツアーに参加する。その他、高谷史郎作品『明るい部屋』^{クローマ}『CHROMA』などへ振演出演として参加、藤本隆行 X 白井剛『Node-砂漠の老人』^{ノード}などコラボレーションを中心とした作品に参加をしながら、近年では地元、岡山を拠点とした活動も始める。'13演出作品『愛について語る時に我々の語ること』、'14滞在制作作品『猿婿-ザ フェイス オブ ストレンジャーズ』^{ザ フェイス オブ ストレンジャーズ}を発表。

3 山崎広太 (Kota Yamazaki)

舞踏を笠井叡、バレエを井上博文に師事。2002年からNYを拠点にし、Kota Yamazaki/^{フルード ハグ-ハグ}Fluid hug-hug主宰。BAM (NY)、EMPAC(NY)、アリゾナ州立大学、コロンビア大学シカゴダンスセンター、TBA フェスティバル(OR)、DTW、ダンススペースプロジェクト、ジャパン・ソサエティ (NY) などで公演。ベンニトン大学ゲスト講師、近畿大学四谷アートステュディオム講師を務める。『(glowing)』2012~13年北米ツアー。新作『OQ』2015-16年北米ツアー。2007年NYダンス・パフォーマンスアワード（ベッシー賞）受賞。2013年、FCAアワード受賞。2008年よりボディ・アーツ・ラボラトリー代表。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888